**送付先：ＩＣＴ夢コンテスト２０２２ 事務局　宛（E-mail：****Yume2022apply@japet.or.jp****）**

ＩＣＴ夢コンテスト　実践事例応募用紙

**※この応募フォーマットはホームページよりダウンロードしてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| **類似のコンテストに入賞歴の無い事例が対象です。有無を右欄に記入ください。** |  |
| **類似のコンテストへ同時期に応募しない（していない）事例が対象です。有無を右欄に記入ください。** |  |
|  |
| この実践事例は下の要素の何々を含んでいますか。該当する項目の左に ● を記入してください。複数選択可です。 |
|  | 効果的な授業 |  | 児童生徒の資質・能力向上 |  | 教員研修 |  | ＩＣＴ活用指導力向上 |
|  | 校務の情報化 |  | 保護者や地域への情報発信 |  | ＩＣＴ環境整備 |  | ＩＣＴ活用サポート |
|  | ＩＣＴ活用推進 |  | 学校運営・管理 |  | 保護者や地域による学校支援 |  | 地域での児童生徒学習支援 |
|  | 学校行事 |  | 通級指導教室・特別支援学級 |  | その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
|  |
| 学校又は団体名（実践時） |  |
| 団体種（校種、NPO等） | 団体種を選択してください。 |
| 応募者氏名漢字、職 名、氏名カナ、学校又は団体名(実践時) 上記と異なる場合のみ記入※連名での応募も可 | 応募者**※１** |  |  |  |  |
| 連名者(3名まで) |  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 学校や団体への所属年数(応募者) |  | ＩＣＴ夢コンテストの今回を含む応募回数（応募者） |  |
| 応募者 連絡先〒**（半角）※2** |  | 勤務先名（応募者連絡先が勤務先の場合のみ記入） |  |
| 応募者 連絡先住所**※2** |  |
| 応募者 E-mail**※2** |  | 応募者 電話番号※2 |  |

|  |  |
| --- | --- |
| **実践事例タイトル****※４０文字以内・ｻﾌﾞﾀｲﾄﾙは不可** |  |
| **実践の特長（先進性、普及性）**のどちらか一つ選択※どちらかといえば該当すると思う方の項目の左に●を記入 |  | **先進性** |  | **普及性** |

下記項目は改行せずに記入をお願いします。自由記述ですが審査の参考としますので、必ず記入（なければ“特に無し”）をお願いします。

|  |  |
| --- | --- |
| 教科もしくは分野 |  |
| 対象者（学年・他） |  |
| 教科の単元（わかる場合のみ記入 複数可） |  |
| 実践場所（遠隔、PC教室、体育館等） |  |
| 実践時期 |  |
| 活用したICT機器、教材、環境等 |  |

|  |
| --- |
| **アンケートをお願いします。**コンテスト企画運営の参考にさせて頂きます。本コンテストをどのようにお知りになりましたか。● を記入してください。複数選択可です。 |
|  | 案内ポスター |  | 前から知っている |  | 教育委員会からの紹介 |  | 上司や友人・所属団体からの紹介 |
|  | 案内チラシ |  | 事務局メール |  | ニュース媒体から |  | JAPET&CECホームページより |
| ご　意　見 |  |

※１：連名の場合、「応募者」は自ら実践し自ら事例を執筆したご本人とし、かつ事務局からの直接の連絡先としてください（実践の際の監修者や上司、自治体・学校等の協力者などを「応募者」とはしないでください）。

※２：連絡先住所は、事務局からの郵送物を受け取れる住所をご記述ください。また、E-mail及び電話番号は、事務局から連絡を取らせていただけるものをご記述ください。

**・応募事例に、図や写真を組み込むことでより実践が分りやすくなるようにしてください。**

**・フォーマットの変更はしないでください（実践内容部分も２段組にせず、１段組のまま記述してください）。**

・参照ＵＲＬ、QRコードの使用は不可です（応募書類以外の情報は審査対象外です）。

・表紙記述１頁と実践事例内容記述２頁以内、計３頁以内で纏めてください。それ以上は受理できません。

**・実践事例の記述はＭＳ明朝11ポイントのフォントを使用してください、また４６文字／行を目安としてください。**

**実践の概要（実践内容を５行以内で簡潔にまとめる）**  (1)～(3)項目の記述配分は自由です。

**（１） ＩＣＴ活用の目的とねらい**

**（２）実践の特長・工夫（先進性があるか　または普及性があるか）**

**（３）実践の成果（子どもたちや教員はどう変わったか、絆の深まりは見られたか等）**